

こうた 議会だより

155号

2015.1.27 発行
愛知県幸田町議会

田町町村合併60周年記念



- 12月定例会のあらまし 2
- 介護予防支援 運営基準など 2
- 議長 年頭のごあいさつ 3
- 一般質問 4
〈相見駅前交番設置 など8人が質問〉
- 委員会レポート 12
コンビニ収納の導入 など
- あい・らぶ・マイタウン 18
『笑顔の花が咲いたふれあい会』
『幸田町の良さ』

風揚げまつりを盛りあげる
三州幸田鼓夢のみなさん

12月 のし 会ま 例ら 定あ

介護予防支援 地域包括ケアの運営基準定める

12月定例会は、12月1日に招集され、22日までの22日間の会期で開催しました。

新型インフルエンザ等対策行動計画の報告1件、人権擁護委員の人事案件1件、地域包括支援センターの職員・運営基準を定める条例など単行議案3件、補正予算1件が上程され、原案どおり可決しました。

そのほか、陳情4件を審議し、不採択としました。
最終日に、職員の給与改正など4件と補正予算1件が追加提案され、可決しました。

一般質問は、8人が町政全般にわたる課題をたてました。

地域の自主性・自立性を高めるための改革の推進を図るため、国からの権限移譲で、地域包括支援センターの運営基準など関係する2つの条例を制定。

地域包括支援センターの職員と運営基準

地域包括支援センターは町内を生活圏域とし1カ所。被保険者が6000人を超え、9000人までは職員の人員配置基準に依じて増員する。

保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の3職種とこれに準ずる者を配置。

Q 職員資格で準ずる規定は質の低下を招かないか。

A 保健師と限定するものではない。県の研修を受講した看護師でも対応できる。



お気軽に相談を

Q 中学校区に1カ所を基準としている。増設を。9000人を超えたら増設を検討する。
A (反対2賛成12で可決)

指定介護予防支援の事業と効果的な支援

指定介護予防支援事業者の介護支援サービスに係る効果的な支援などの基準を定める。

Q 国の基準どおりか。
A 町独自に法人と定め、記録の保存を5年間とした。
(反対2賛成12で可決)

議員の期末手当

0・15月引き上げ
12月期1・55月を1・70月に改定する。
(反対2賛成12で可決)

町長・副町長の給与と期末手当の引き上げ

町長の給料月額85万円を86万円に1万円引き上げる。副町長の給料月額65万円を67万円に2万円引き上げる。

12月期の期末手当1・55月を1・70月に改定する。

Q 景気は回復してなく、住民の生活は厳しい。なぜこの時期に引き上げか。

A 18年間据え置きしてきた。行財政規模で比較すると給与水準が低い。報酬審議会に諮問し、あげ

たかどうかと答申があった。
(反対2賛成12で可決)

教育長の給与引き上げ

給料月額60万円を62万円に2万円引き上げる。
(反対2賛成12で可決)

町職員給与と勤勉手当引き上げ

国家公務員の給与改定に準じ、給料表の改正、勤勉手当を引き上げる。
給料表の改正で、平均0.3%の引き上げにともなう影響額は530万円の増額。
勤勉手当は1750万円の増額。
(全員賛成で可決)

年頭のごあいさつ



議長 大嶽 弘

町民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこ
とと心からお慶び申し上げます。

さて、少子高齢化社会となり、日本の人口が減少し続けて
いる中、幸田町においては区画整理事業などにより、少しづ
つではありますが増加しています。「住みよいまちづくり」を
目指す幸田町の魅力が示されているものと信じております。

全国から区画整理事業、道の駅、大日蔭グラウンドゴルフ
場などの視察に来られます。中でも特に「議会だより」は、
遠くは宮城県・広島県を始め県内外から昨年4月以降11件の
視察を受け入れております。これらを通じ、今後も議員の研
鑽と町のPRに努めてまいります。

また、町の基盤整備については、町当局と共に県に対し広
田川の早期改修、菱池遊水地の早期整備、工業団地の開発促
進などを要望してまいりました。これらの実現に向け今後も
努力してまいります。

今年は統一地方選挙の年であります。町の更なる発展を目
指して議会のあり方について研鑽に努め、開かれた議会を目
指す所存であります。

皆様にとって、本年も輝ける年でありますようご祈念申し
上げ、新年のごあいさついたします。

平成27年1月

一般会計補正予算

歳入歳出1620万円追加

主な事業

蒲郡市幸田町衛生組合斎場
建設負担金 843万円
相見駅駐車場修繕工事費 40万円
農地台帳システム改修業務 129万円
給食センター消毒保管機増

設工事費

486万円

(全員賛成で可決)

一般会計補正予算

(最終日上程)

歳入歳出152万円追加
期末手当引き上げに伴う追
加 (反対2賛成12で可決)



給食センター

人事案件

人権擁護委員 (任期3年)

鳥居 明美氏 (六栗)

鈴木 正親氏 (久保田)

(全員賛成で同意)

陳情

○介護・福祉・医療など社
会保障の施策拡充につい
ての陳情書

陳情団体 愛知自治体キャ
ラバン実行委員会

(反対12賛成2で不採択)

○介護従事者の処遇改善を
求める陳情書

陳情団体 愛知県医療介護
福祉労働組合連合会

(反対12賛成2で不採択)

○安全・安心の医療・介護
の実現と夜勤改善・大幅
増員を求める陳情書

陳情団体 愛知県医療介護
福祉労働組合連合会

(反対12賛成2で不採択)

○愛知県看護職員15万人体
制などの実現を求める陳
情書

陳情団体 愛知県医療介護
福祉労働組合連合会

(反対12賛成2で不採択)

まちづくりの考えは？

問 相見駅前交番の設置推進は

答 早期に実現する方向ですすめる



酒向 弘康 議員

- 交番、駐在所の再編強化と、災害から住民の命を守る施策を問う。
- 問** 町内3つの駐在所の交番化への状況は。
- 答** **総務部長** 駐在所は交番を補完する機能として配置されている。
- 問** 町長は所信表明で、相見駅前交番の設置推進を表明したが、見通しは。
- 答** **町長** 県警本部、岡崎警察署に要望をしている。早期に実現する方向ですすめている。
- 問** 町の玄関口にふさわしい、幸田駅前交番の建物と交番機能に。



野場駐在所

- 答** 将来的に区画整理と合わせて、常駐型の分署的な機能を持った幹部交番を考えたい。
- 問** 広田川の2つの河川水位監視カメラの映像を町HPでリアルタイム公開を。
- 答** **総務部長** システム変更時に公開できるように検討する。
- 問** 災害弱者と呼ばれる、※要援護者の対象人数と登録率、近隣との比較。
- 答** 2562人。登録者は129人で5%。岡崎市53・2%。西尾市26・5%。
- 問** 災害時要援護者登録を伸ばす抜本的な取り組みの考えは。
- 答** マップ作成など内部で検討していく。
- ※高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦といった災害時に自力で避難することが困難な人のこと。

問 パブリックコメントの現状は

答 公表して反映させている

- 自治体の広報業務は大きな役割と役目がある。さらに「新たな広報力」を身につけ活性化が必要だ。
- 問** 「広報掲示板」設置の経緯と設置数、管理の現状は。
- 答** **企画部長** 各区からの要望で昭和55年に設置。51力所で維持管理は区、修繕は町。
- 問** 住民最大の情報源である「広報こうた」の発行部数と配布先、町HPへ

- のアクセス数は。
- 答** 月1万3200部発行、住民、3駅、町民会館、道の駅などに配布。
- 本年度10月末まで2万849件。年々増加。
- 問** HPに古い情報の掲載がある、管理の仕組みは。
- 答** 担当課が自主管理する。今後、外部モニター制度など検討する。
- 問** 最近実施したパブリックコメントの状況と寄せられた意見の件数、その反映は。
- 答** 平成25年度は5件、26年度は2件。公表して反映させている。
- 問** 広報戦略を、作成中の第6次総合計画においてこみ、策定する考えは。
- 答** 中・長期の広報戦略を策定する考えはない。広報の充実を図る考えは盛り込んでいく。



中根 久治 議員

問 郷土に誇りを持つための施策は

答 文化財副読本を作成中



郷土資料館

町が深溝松平氏の関係で島原市と仲良しになった。これを機会に、ふる里を知り、愛着と誇りを持つことにつながる施策を。

問 島原市との友好関係の今後の計画と、松平忠房公誕生400年への企画と郷土資料館計画は。

答 **教育部長** 4年後の初代忠房公誕生400年に記念事業を考えていきたい。郷土資料館建設推進への道筋も検討する。

問 郷土に誇りを持つための現在の取組みは。

答 本年度文化財副読本を作成中である。

問 「郷土に輝く人々」のよくな文化史の発行を。

答 町史の発行から40年たち、考えていく時期でもあり、町史の別冊が発行できればと考えている。

問 ケーブルテレビで「幸田の偉人」を紹介する番組の製作と放映は。

答 一度協議して実現できるように検討していきたい。

問 町の誇りともいえる人物についての資料や情報収集はどこでしているか。

答 生涯学習課がおこなっている。

問 子どもの学力・体力は大丈夫か

答 仲間と運動する活動を奨励

全国学力テスト・体力テストの結果が公表された。愛知県の平均点は若しくない。町内の子どもの学力・体力を問う。

問 町の平均点の公表に対する

する基本方針は。

答 **教育部長** 公表はおこなわない方針。

問 子どもの学力で、県や国との比較と分析は。

答 国としては、中学校は、国語・数学ともよかった。小学校では国語において劣っている。

県としては、小・中学校ともよかった。

問 町が取り組んでいる学力・体力向上のための教育方針は。

答 集団で遊ぶ、仲間とともに運動する活動を奨励する。

問 社会体育としての放課後の活用は。

答 **教育部長** 現在体力向上を目指した放課後の社会体育事業は実施していない。

問 タブレット端末の教育現場への導入は。

答 **教育部長** まずは特別支援教育において活用を考えている。

問 土曜授業など、土曜日の活用は。

答 他市町村の様子を見ながら検討したい。

丸山 千代子 議員



問 介護サービスの保障を

答 これから体制づくりなど検討

- 問** 第6期介護保険の見直しは、自助・自立を土台にすえ、介護サービス削減と負担増である。厚労省はガイドラインを示したが、内容は。
- 答** 健康福祉部長 要支援1、2の訪問介護、通所介護を生活支援介護予防サービス、住民が主体のサービスへ移行。
- 問** 新制度では、要支援を総合事業に移しボランティアなどの多様なサービスをとおこなう。現行のサービスを保障すべきだ。
- 答** 平成30年の完全実施に向け、体制づくり、事業内容の検討をおこなう。
- 問** チェックリストによる振り分けで、認定は少しをしないように。
- 答** 職員体制や専門職の整備をし、専門的な知識によって判定する。
- 問** 要支援の実態と総合事業の延期を。



中央公園で元気にプレー

- 答** 平成25年度末の要支援1、2の認定者は232人。29年4月から移行。
- 問** 基金の活用で第6期保険料を引き上げない。
- 答** 医療費の伸びや高齢化もあるが、抑制を考える。
- 問** 保険料・利用料減免拡充で使える制度に。
- 答** 町独自の軽減の減免制度は、現行どおりで対応。

- 問** 中小企業が元気にならないと景気はよくなるらない。地域経済・雇用を支える中小企業振興基本条例の制定を。
- 答** 環境経済部長 商工会と連携し、実効性、継続性あるものを検討。
- 問** 5人以下の小規模事業者を施策の中心にした小規模企業振興基本法が成立した。中小企業を応援する施策の具体化は。
- 答** 地域の実情に合わせた

問 中小企業を応援する施策を

答 商工会と連携してすすめる

- 問** 地域経済の活性化で有効な、住宅リフォームと商店街リフォーム・リニューアル制度の創設を。
- 答** 耐震化を優先し、高齢者、要介護、障害者対策、太陽光発電に取り組む。中小企業へは、設備に関する融資、あつせんで対応する。
- 問** 商店街リニューアルは、駅前の区画整備や街路で取り組む。
- 問** 先進的な取り組みの高崎市まちなかリニューアル助成のような、商業の応援を。
- 答** 先進地に学ぶ姿勢、向上心を持って研究する。



都築 一三 議員

問 地域防災力の充実と団員確保を

答 147人体制を維持



放水開始！（消防団競練会）

地域の防災力は、多くを消防団に頼っている。昨年成立した「消防団を中心とした地域防災力の充実強化に関する法律」の内容も含め、町内の消防団の現状と課題を問う。

問 法律の主な内容は。

答 消防長 地域防災力の中核と位置づけ、装備改善、団員確保をすすめるとともに、地域の防災力の充実・強化を図る。

問 団員確保の実情は。

答 定員147人を維持、現状の体制でいく。

問 本町および近隣市における公務員消防団の実情と兼職に関する配慮は。

答 本町29人、岡崎市78人、蒲郡市14人、西尾市19人、本町において兼職の許可および職務専念義務免除を承認している。

問 消防団協力事業所制度の活用の実状と実績は。

答 事業所表示は8事業所、優遇措置はない。

問 退職報奨金などの支給実績は。

答 国の規定では勤続5年未満は支給しないが、本町では2年以上5年未満も支給する。

問 消防団OBの活動の現状と自警団・防災会の特色ある活動は。

答 避難所開設、避難、救命、初期消火訓練など。

問 島原市との交流促進計画は

答 歴史や文化で交流をすすめる

町は今年、島原市との交流を具体化し始めた。歴史と文化で縁の深い市として今後の友好関係の発展を期待し、その施策を問う。

問 町は今年、島原市と「歴史文化の友好交流の推進に関する協定」を結んだ。これに至る経緯は。

答 企画部長 平成8年島

原本光寺の片山住職を講師に迎えたシンポジウム「島原の乱と三河」の開催から、両市町で5回のシンポジウム、講演会を開催し、12回の視察をおこなった。

問 短期的・長期的な計画内容とそのビジョンは。

答 歴史や文化を通し、人の交流をすすめる。

問 観光事業推進のための予算は。

答 環境経済部長 保存管理計画策定中。

問 ヴェネチアン・グラス以外にも印籠などを漆工芸品として日本の伝統工芸技術を用いて、レプリカを制作する考えは。

答 教育部長 出土品の所有者、管理者に相談し、検討。

その他の質問項目

高齢者問題について

志賀 恒男 議員



問 名浜道路のメリットは

答 企業誘致施策が推進できる

自動車関連産業の盛んな本町は、グローバル経済圏を目指すべき。中部国際空港へのアクセスインフラ整備の取り組みを問う。

問 平成19年に名浜道路が調査区間に指定された。その意義は。

答 **建設部長** 碧南から西尾市沿岸部の交通基盤が脆弱であるため。

問 調査の進捗状況は。

答 愛知県が調査。今年度は防災面で果たす役割の検討。

問 町内の接続地域は。

答 23号バイパス桐山IC付近。

問 東日本大震災後に、津波対策の役割が期待されるのでは。

答 盛り土形式の防波堤を避難施設として要望。

問 名浜道路が町にもたらすメリットは。

答 **企画部長** 中部国際空

港や衣浦港、三河港を結ぶ東西幹線となり、グローバル物流ネットワーク構築ができ、企業誘致施策が推進できる。

問 町独自の推進活動は。

答 **建設部長** 名浜道路とつながる23号バイパス4車線を推進するため、地元の団体と国に要望している。



名豊バイパス桐山インター

問 下水道の長寿命化計画の策定を

答 当面は修繕で管路の長寿命化

巨大地震に備え、下水道の耐震・長寿命化を問う。

問 町内の重要な下水道幹線はどこか。

答 **建設部長** 中部1号・3号・6号汚水幹線、相見汚水幹線、南部1号・2号汚水幹線。

問 重要な下水道幹線の耐震率は。

答 65・6%。

問 下水道の耐震化を優先する必要がある施設は。

答 災害対策本部の役場本

庁舎、消防本部、要援護者関連施設の「つどいの家」と「まどかの郷」。

問 耐震化の必要がある地域とマンホールの数は。

答 地域は特定していない。9393基ある。

問 下水管の老朽化や亀裂を発見する点検維持管理の方法は。

答 管路はテレビカメラによる調査。中継ポンプは毎年、保守点検をし修繕補修をしている。

問 下水道を早め早めに修理する長寿命化計画の策定を。

答 当面は修繕で管路の長寿命化をし、今後は必要に応じて国の補助で長寿命化対策をおこなっていく。



水野 千代子 議員

問 「がん教育」の補助教材を

答 良いものがあれば参考にしたい



幸田中学校の授業風景

問 「がん」は現在、国民病と言われている。新たな「がん対策推進基本計画」で、子どものころから「がん」に対する正しい知識と理解を得る重要性が示され、平成28年度までに「がん教育」が実施予定である。

答 教育長 全国21自治体業」とは。

問 「がん」に対する授業時間、内容は。

答 小学校6年生・中学校3年生に、3時間程度、が実施しているモデル事業である。

問 教員・児童・生徒に「がん教育」の補助教材を。

答 他市町村の補助教材で良いものがあれば参考にしていきたいと考えている。

問 小・中学校で「がん教育」の推進は。

答 重要性を十分認識し、さらに研究していく。

問 男女共同参画条例の制定を

答 今後検討する

国は平成32年までに、指導的地位にある女性の割合を30%程度に増す目標を掲げている。
女性の柔軟な発想、生活に即した知恵を発揮できる

問 取り組みが重要である。審議会などの女性登用率は。

答 企画部長 26機関中7の機関は30%を上回り、19機関は下回っている。

問 指導的地位にある女性職員の割合は。

答 平成26年度は9・8%である。年々登用率は向上している。

問 女性職員の活動を後押しするため、目標設定と行動計画の策定を。

答 本町は、目標や行動計画は定めていない。県内・近隣の状況を踏まえ検討していきたい。

問 男性職員の育休取得率は。

答 取得していない。

問 男女共同参画条例の制定を。

答 県下の16市1町が制定、近隣の状況を踏まえ、今後検討したい。

答 県下の16市1町が制定、近隣の状況を踏まえ、今後検討したい。



池田 久男 議員

問 平成27年度以降の税収は

答 法人町民税は税率の縮小で減収

消費税10%の引き上げが懸念されるなか、「幸せな町、幸田町」を実現していくため、以下を問う。

問 景気回復と税収をどう見ているのか。

答 **総務部長** 緩やかな回復基調が続いている。個人町民税は、若干の増加を見込む。

問 27年度以降大変厳しいが、見込みは。

答 法人町民税の税率が平成28年度から9・7%、29年度から8%に縮小予定され、減収傾向となる。

問 消費税10%引き上げを先送りした場合の影響は。

答 歳入は大きな影響はない。歳出は各事業の消費税分が抑えられる。

問 総合計画「実施計画」の具体的な施策は。

答 **企画部長** 消防救急無線のデジタル化、4地区の区画整理事業の推進。

問 将来を見据えた、新たな企業誘致の施策は。

答 新産業の企業誘致と町内企業が留まるよう企業庁関係機関と協力調整。

問 箱物建設の具体的な考えは。

答 **町長** 体育館、児童館など町のレベルに合った施設を考えている。

問 野場横落線の早期整備は

答 J R東海などと協議をすすめる

問 通勤時間帯での交通渋滞が増加している。施策は。

答 現状の認識、把握は。



錦田ガード周辺の交通渋滞

答 **建設部長** 駅西工業団地や西尾方面への交通量が増え、菅田交差点では800m以上渋滞となる。

問 交通量調査は、実施されたのか。

答 9月26日、10月3日に4つの交差点で朝7時から8時30分まで調査。

錦田ガードは517台、大迫交差点は529台が通過した。

問 J Rが東西の道路を分断している。本町のアンダーパス、平面交差、オーバーパスは何力所か。

答 順に、5力所、7力所、4力所である。

問 野場横落線の進捗状況は。

答 全長2・6kmで1・2kmが整備済みである。

問 今後の計画、課題は。

答 J R東海道本線と広田川をどう交差させるかが一番の課題である。

問 野場横落線の早期整備のため、調整、連携を。

答 J R東海や県との協議をすすめていく。



伊藤 宗次 議員

問 国保税1世帯2万円引き下げを

答 国政の動きを見ながらすすめる

問 後期高齢者医療制度で歳入、歳出どう変わったか。

答 **健康福祉部長** 拠出金5億373万円が3億7201万円になった。

問 国保の負担軽減されたか。

答 全体的には前年度と変わらない。

問 2015年度から、財政共同安定化事業一円化で、県の助け合事業になるが、財政調整基金は必要になる。

答 平成27年度の試算では約2000万円強の投入が必要。

問 国保税負担軽減に役立て活用を。

答 税率で他の市町村と比べると、県の平均より低い。

問 大須賀町長1期目に10・85%、6000万円もの大増税した結果、県下54市町村中、6番目に重い国保税だ。

答 **町長** 就任した状況下で最善策と思う。

問 2億2000万円余の滞納の分析は。

答 **健康福祉部長** 個々に面談し、減免、分割納入

など対応。

問 国保税減免制度の対象者は自動的に適用を。

答 制度の中で検討する。現在は申請で。

問 1世帯2万円の国保税引き下げを。

答 **町長** 今からの国政の動きを見ながらすすめる。

問 学校トイレ臭改善計画を短期に

答 早期対応を考える

学校全体にトイレ臭がただよう豊坂小学校。保護者から、とても勉強に集中できる環境ではないの声。

問 トイレ臭改善工事結果と保護者などの声は。

答 **教育部長** 小便秘18基の更新、和式のトイレ5基を洋式化した。

おおむね改善され、保護者からも好評。



豊坂小学校

問 小中学校全9校のトイレ設置数は。

答 合計562基。

問 和式洋式の数は。

答 和式401基、洋式161基。

問 望ましい和式洋式トイレ比率は。

答 現在、約3割の洋式化率である。指針はないが5割を目指す。

問 小中9校のトイレ臭など実態調査を。

答 職員が現地調査する。その結果にもとづき短

期間に計画的にトイレ改善を。

答 年度ごとに2校、便器を中心に改修する。

問 1000万円以上の大規模改修計画には国庫補助金交付がある。その考えは。

答 学校施設環境改善交付金があるが、便器の改修は対象外。

問 大規模改修工事を短期に計画的に。

答 今年度の実施計画も見直し、早期対応を考える。

総務

コンビニ収納の導入

Q 導入までの、事務費用は。

A テストを行う費用と、納付書を全部刷り直す費用がかかる。

Q 手数料はいくらか。

A 1件60円かかるが全額町が負担する。

Q 収納代行業者とは。

A コンビニ会社に代わって税金を収納する業者である。

Q 業務開始は。

A 平成28年4月から。

消防指令業務の共同運用

岡崎幸田地域消防通信業務研究会は作業部会を設け、共同運用に関し検討をおこなう。

Q 財政面でのコストは。

A 町単独でおこなうと2億7400万円、共同運用の場合は2億4700万円である。

Q 人員の削減は。

A 通信員として6人で運用しているが、4人になる。



コンビニ窓口



富山市のライトレール



11月12・13日、富山県富山市、南砺市を視察

公共交通を軸としたコン

公共交通の活性化とまちづくり

パクトなまちづくり
人口減少、高齢化の進展などに対応するまちづくり、効率的な都市運営をおこなうため鉄軌道（ライトレール）

ル）をはじめとする、公共交通を活性化させ、沿線に居住推進地区を設定してまちづくりがおこなわれている。

その効果として転入超過、市内電車の利用者数も増加に転じて成果が上っている。

南砺市

公共施設再編計画

平成16年11月に4町4村が合併、合併前に建設した公共施設をそのまま引き継いでおり、行政財産として1206施設を保有している。人口規模の類似した自治体と比較しても大変多い数であり、将来にわたり維持管理していくことは財政的にも相当困難な状況となっている。

平成23年公共施設再編計画を策定し、計画に基づいた見直しがすすめられていた。

三ヶ根駅東口広場 改修工事

産業建設



三ヶ根駅東口のロータリー

11月6日 協議会開催

三ヶ根駅東口広場の改修工事の計画概要が示された。改修工事545万円の内容は。

A 前年度トイレの改修工事をおこなった。その跡地を利用し、駅前ロータリーの改良整備をする。
Q ロータリーの中の空地はどのようにするのか。
A 60周年記念事業ということで植樹をおこなう。

各種公共工事の進捗

平成26年度事業、500万円以上工事の進捗状況。土木事業は野場区石荒の側溝改良工事を始め4件、2281万円。
A 水道事業は芦谷地内の重要給水施設排水管布設工事を始め13件、1億8209万円。
下水道事業は六栗地内の公共下水道築造工事を始め16件、2億4755万円。

遊水地公園など視察

10月16・17日 埼玉県久喜市、加須市、神奈川県横浜市を視察

久喜市

渡良瀬遊水地は、利根川と渡良瀬川の合流点にあり、日本最大の遊水地である。面積は33km²・貯水容量1億7000万m³を誇る。遊水地は昭和45年から平成7年にかけて完成し、供用されている。

遊水地内には、下流の水道用水、運動公園など多くの利用がされている。

加須市

道の駅きたかわべには、農産物直売施設「いな穂」農村レストランが併設され隣接して「北川辺スポーツ遊学館」があり、防災施設もかねている。

横浜市

鶴見川多目的遊水地は、都市近郊の住宅開発がすすんでいる地区にあり、運用開始は平成15年6月で過去



鶴見川多目的遊水地

10年間に11回の流入実績がある。

面積は84ha、総貯水量は390万m³であり、構造物は※ピロティ方式で建設されていた。遊水地内には日産スタジアム、都市計画道

路、運動公園など有効に活用されている。

※多くの柱を立て、その上に建築する方法。

文教福祉

11月5日 協議会開催

平成27年度から始まる新しい支援事業（素案）の5年計画が作成された。

Q 対象となる子どもたちの動向は。

A 今後の宅地開発の動向を踏まえ、調整する。

新子育て支援計画（案） まとまる

Q 3歳未満児保育の二一

ズ調査結果との整合性は、

A 現状15%弱を、5年間で5%増の20%とした。

Q 公立の施設をふやさない方向で対応できるのか。

A 認定こども園など民間の活力を生かした事業誘致で対応。

Q 出産後の育児ケアは。

A 赤ちゃん訪問事業や児童虐待対策会議で対応。

新しい保育料（素案）

保育料が、所得税による

ものから住民税による階層区分に変更となる。

Q 利用者への影響は。

A 増額が187人、減額が91人。

Q 増額の最高額は。

A 月5000円。

Q どう説明するのか。

A 国の制度の変更によるものと理解を願う。



子ども・子育て支援新制度パンフレット

幸田小の教室不足は 増築で対応

11月13日 調査会開催

児童の増加により、幸田小学校の教室不足が予想される。

Q 整備完了の予定は。

A 平成28年度末までに増築を完了したい。

Q 今後のすすめ方は。

A 地元の声を聞きながら、27年度中に実施設計、28年度末に工事完了を目指す。

Q 地元への説明は。

A 地元の建設住民委員会を11月半ばに、第1回をおこなった。短期間で集中的におこない、意見集



鷺田区内の通学風景

約に努める。

Q 児童が1100人もい

A 33年度以降、緩やかなカーブで850人くらいに下ると予想。

北部中学校
体育館フロア改修

Q 改修を平成30年に実施する理由は。

A 北部中学校の増改築計画に合わせた。

Q 将来400人が800

A 人の規模になるが。

模の学校整備の中で考えていく。

「みんなでつくる 元気な幸田」

総合計画

11月4日 協議会開催

今後10年間のまちのあるべき姿として、第6次総合計画策定に着手。その内基本目標の第1章・第2章を協議

第1章「安全・安心」
いのちと暮らしを守るぞ

Q 自主防災会に参加しやすい施設展開と発信を。

A 防災力強化と防災活動の支援の強化を推進する。

Q 消防整備基本計画は、最上位の方針を持つてくるべきでは。

A 町民にわかりやすい身近な表現にまとめていく。

第2章「環境」
自然豊かに美しく

Q 資源回収活動を「支援」するは「推進」に。

A 検討する。

Q 住民参加を盛り込み、10年後実現したい姿を表現すべきだ。

A 理念や概念は変わらないう。今ある課題の取り組みをする。

Q 手づくり感はあるが、表現が概論と各論とが混合している。

A 「あるべき姿」へのアプローチをどうしていくか検討する。



消防出初め式

「住民協働」の総合計画策定を視察

10月23日 田原市、10月30日 尾張旭市を視察

田原市

「改訂版・第1次田原市総合計画」は合併により、実情にあつた見直しで、急激な社会変化や価値観の多様化に対応できるまちづくりを進めるため策定。

市民意見集約手法として、各種団体等をメンバーとする、まちづくり市民会議、市民意識調査、パブリックコメントなど、住民参画を基本理念として様々な形で市民参加で取り組まれている。



田原市

尾張旭市

尾張旭市第5次総合計画策定の趣旨は、目標管理とめざす姿と、その達成度を



尾張旭市

測るモノサシとして成果目標を設定。

長期的かつ普遍的な市民共通のより魅力のあるまちづくりの理念として将来の都市像を定めた。

市民意見集約の手法として、市民の意向調査や各団体、校区懇談会、中学生、転入・転出者アンケートを実施。

広く市民の声を意見集約され、独自性が生まれるよう取り組みがされていた。

商店街活性化事業を視察

総合開発



若い人にも人気

10月20・21日 東京都巣鴨地蔵通商店街と神奈川県大和市を視察
 巣鴨商店街
 JR巣鴨駅から800mにわたる商店街で、全国的にもおばあちゃんの原宿として有名である。
 とげぬき地蔵のある高岩寺にも多数の人が訪れる。商店街は195店舗中75%が、自宅兼店舗になっており小売り販売が多い。
 若手の商店街組合員がフェイスブック、ホームページ、テレビ、マスコミを利用し全国に発信している。

大和市
 大和駅周辺地区において文化創造拠点を創出することを推進している。
 「文化交流が盛んなまち」の実現を図るため公益施設として、芸術文化ホール、図書館、生涯学習センター、こども広場、民間施設、店舗、神社などの複合ビル建設を官民連携事業として取り組んでいる。



▲名古屋大学
減災連携研究センター



◀子どもたちも見学

10月31日 協議会
 地域の防災力向上で、23年10月から、職員1人を名古屋大学減災連携研修センター

防災対策

町の防災テーマを持って研修を

ターに派遣していることなどを協議。

Q 18人の派遣中、市町職員5人。あとは企業派遣者だ。自治体の業務分野と相入れぬが。

A 自治体職員派遣は、幸田町が一番早い。企業派遣が多いのが実態。

Q 派遣職員は、町独自のテーマを持つての研修か。
 A 研修テーマは地域防災力向上で、町にとつて有益な情報を得ることもなる。

Q 町職員は3〜5年で人事異動がある。研修成果が生かせるかは疑問だ。
 A 今まで名大に派遣された職員はいない。さまざまな分野に派遣し、成果を持つてきている。西三河9市町の防災応援協定も成果の一つだ。

Q 災害時要支援者への対応は。
 A 本人手上げであり、思うにまかせない状況ですんではない。

Q 深溝断層以外、他学区の災害特性もある。名大での研修内容は。
 A さまざまな分野の教授もいるので関係深める取り組みをしている。



シェイクアウトの訓練

question
防災訓練に「シェイクアウト訓練」の導入を。

平成25年6月定例会
酒向弘康 議員
「シェイクアウト訓練」
導入を

その後

平成25年度から参加表明
26年度開催の防災訓練での
参加実績は、約1900名
であり、今後も継続してい
く。

愛知県が9月1日に実施
予定。本町も町民に参加啓
発につとめ、新たな訓練と
して前向きに検討する。

あの答弁は
どうなったの!

追跡
一般質問その後

議会広報視察来町（平成26年4月～12月）

11市町村・94人

7月 2日	宮城県加美町議会	8人
7月 8日	静岡県吉田町議会	8人
7月 14日	香川県三木町議会	8人
7月 18日	京都府木津川市議会	9人
8月 28日	長野県宮田村議会	6人
10月 28日	奈良県安堵町議会	14人
10月 29日	和歌山県海南市議会	8人
11月 17日	鳥取県日吉津村議会	6人
11月 18日	広島県三原市議会	8人
11月 26日	広島県坂町議会	9人
11月 27日	小牧市議会	10人



伊藤宗次議員
在職35年以上
大臣感謝状

平成26年10月17日、総務大臣感謝
状が伊藤宗次議員に贈られました。
この表彰は、議員在職通算35年以上
の永きにわたり、地方自治の振興に
寄与された功績によるものです。

議員の寄附行為の禁止

政治家（後援団体）が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、
法律で禁止されています。

また、皆さんが政治家に寄附を求めることも禁止されています。
たとえば、

- ・お祭りや運動会など、地域行事への寄附や差し入れ
（催し物などで参加者全員と同額の会費を負担する場合は除く）
- ・お祝いやお見舞い、葬儀の花輪など
- ・年賀状や暑中見舞いなどの時候の挨拶状（答礼のための自筆は除く）

※地域で行なわれる行事などで、会費
や実費の伴うものの案内をする場合
には、会費を必ず明示して通知して
ください。



大坪真生子さん



笑顔の花が咲いたふれあい会

私 たち中央小6年生は、総合的な学習で、「笑顔の花を咲かせよう」をテーマに活動しています。

10月に中央小学校区のお年寄りとふれあい会を行いました。何をしたら喜んでいただけるか、班に分かれて考えました。私たちの班は岩堀区のお年寄りと紙飛行機飛ばしをしました。お年寄りの方からは、マジックや笑いヨガを教えていた

だきました。はじめはきちょうしましたが、時間がたつにつれて、私たちもお年寄りの方々も自然と笑顔が増えて、楽しく過ごすことができました。特に肩もみをしたときには、すごく喜んでくださって、やつてよかったと思いました。

このような機会を増やしていき、たくさんのお年寄りに元気になってもらいたいと思います。



幸田町の良さ

幸 田町はとても住みやすく便利な町だと思います。

僕は、作文にも幸田町について調べて書くほど幸田町に関心を寄せています。現在、幸田駅周辺は様変わりし、先日車で通ったとき、思わず声をあげてしまったほどでした。相見駅回りにもぎやかできれいな街並みです。また、南部は土地の整備が進み、今後いつそう便利になると思います。

一方で、自然が豊かに保たれ、僕の住む深溝地域の拾石川では、毎年ホタルを多く見ることができ、楽しみにしています。ニジマスも姿を現すと聞きます。筆柿やなすなど特産物も豊かです。

このように、便利さと自然の美しさのバランスが良いこの町が大好きです。将来は町の発展にかかわっていけたらと思います。



絵: 牧野次男さん (芦谷)

編集後記

昨年7月、女性の職場進出促進のため、雇用機会均等法の規則が変わりました。結婚や昇進、職種、転勤などが間接差別の禁止に加わりました。

編集には、多くの人に関心を持っていただけるよう心がけ、努力しています。
(志賀 恒男)

議会広報特別委員会

委員長 浅井 武光
副委員長 中根 秋男
委員 丸山千代子
水野千代子
鈴木 雅史
志賀 恒男
杉浦あきら

発行責任者

議長 大嶽 弘

あなたも議会を傍聴してみませんか

3月定例会の予定です。

●会期の日程			
3月	2日 (月)	開会、議案の説明	
	4日 (水)	一般質問	
	6日 (金)	一般質問	
	9日 (月)	議案の質疑	
	10日 (火)	議案の質疑	
	11日 (水)	予算特別委員会	
	12日 (木)	予算特別委員会	
	16日 (月)	文教福祉委員会	
	17日 (火)	産業建設委員会	
	18日 (水)	総務委員会	
	23日 (月)	議会運営委員会	
	26日 (木)	討論、採決、閉会	

- 場 所 役場5階 議場・第2委員会室
- 時 間 午前9時から
- 詳しくは議会事務局へ
TEL 63-5151 (直通)